

草の根・人間の安全保障無償資金協力

「リロングウェ青年職業技術訓練センター建設計画」
起工式
2019年11月1日



定礎および記念植樹を行う柳沢大使



スピーチを行う柳沢大使（左）と青年・スポーツ・文化省ニンガンガ技術サービス局長（右）



踊りの輪に加わる柳沢大使



握手を交わす柳沢大使とチュンガ団体代表



若者による伝統ダンス



カウマ地区女性グループによるダンス

2019年11月1日金曜日、リロングウェ市カウマ地区において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「リロングウェ青年職業技術訓練センター建設計画」の起工式が行われました。式典には、青年・スポーツ・文化省ニンガンガ技術サービス局長も列席しました。

マラウイの若者が国の発展に貢献するためには、十分な教育、職業技術訓練および仕事を提供される必要があります。今後1年以内に完成予定の本センターは、知識と専門技術の源となり、カウマ地区の多くの若者を貧困から自立へとつなぐ架け橋となります。

本プロジェクト実施にあたり、重要なことが2点あります。第一に、マラウイの建設業界は、基準に適合しない設計や資材調達および資金管理の誤り、基準以下の建物建設など多くの課題に直面した経緯がありプロジェクトの実施には慎重さが必要です。第二に、同センターがTVETA（技術、起業家および職業教育訓練機関）認定機関になるために知識とスキルを備えた講師や管理者の能力向上が必要です。これに関して柳沢大使は、労働・スキル・イノベーション省および技術、起業家および職業教育訓練機関（TVETA）を含む様々な関係者に必要な支援を呼びかけました。

柳沢大使は、一人の力には限りがあるものの、力を合わせれば大きな成果をもたらすことができる。本プロジェクト進捗にあたり問題に直面した時には、大使館は必要な助言を行うので、いつでも相談するように伝えました。また、建設会社には、基準に沿う品質の高い建設を行うよう希望すると述べました。